

令和元年度事業報告

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

目 次

I	事業の状況	1
1	概 況	1
2	新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響	2
II	事業概要	3
1	スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益 目的事業】	3
(1)	スポーツの普及指導事業	3
(2)	レクリエーションの普及指導事業	7
(3)	体力の増進事業	15
(4)	その他の事業	16
2	都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施 設の管理運営事業【公益目的事業】	17
(1)	指定管理施設	17
(2)	施設管理運営事業	17
(3)	緑地管理事業	18
(4)	有料施設管理事業	19
(5)	指定管理施設の利用者数	19
3	都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づく りに関する事業【公益目的事業】	20
(1)	都市公園等の情報収集事業	20
(2)	都市公園等の広報事業	20
(3)	都市公園等の調査研究事業	21
(4)	都市公園等の利用促進事業	21
4	緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】	24
(1)	緑化推進の普及指導及び情報収集事業	24
(2)	緑化推進の調査研究事業	27
5	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】	28
(1)	都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業	28
(2)	緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業	28
(3)	利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業	29
III	役員等に関する事項	30
1	理事、監事の状況	30
2	評議員の状況	30
3	常勤役員の異動状況	31
4	常勤役員の兼職状況	31
5	理事会及び評議員会の開催状況	31
IV	特記事項	32

令和元年度事業報告

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

I 事業の状況

1 概況

令和元年度は、あづま総合運動公園、福島空港公園及び逢瀬公園・福島県総合緑化センターについては第4期の指定管理者として、福島市民家園については第3期の指定管理者として、それぞれ1年目の管理運営に当たり、引き続き、利用者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検など施設の適切な維持管理や緑化の推進に取り組み、管理する公の施設の健全な発展と公共の福祉の増進に努めてきた。

事業の実施に当たっては「効率的業務執行」と「サービスの向上」を基本とし、利用者のニーズに合わせた事業を展開した。

スポーツの普及指導については、あづま総合運動公園において、子どもを対象とした水泳や球技、体操などの各種スポーツ教室、一般を対象とした公園健康づくり教室の開催に加え、テニス大会やウォーキング大会等を主催した。また、体育館では平日昼間の利用促進を目的とした平日割サービス、トレーニング室では継続利用を促す年会員サービスを新たに導入するとともに、庭球場では過去2箇年の試行を踏まえた「夏季週末早朝営業」を本格的に開始した。さらには、各種団体の協力によりパラスポーツを身近に感じてもらうための体験会も引き続き開催した。

レクリエーションの普及指導については、あづま総合運動公園において、「春の感謝デー」や「あづまちびっこパーク」、関係団体と連携して「ふくしま手づくりマルシェ」と「あづまTeeshingot市場」を開催したほか、オリンピック種目となったクライミングの体験会を春と秋の2回実施した。また、サイクルスポーツ広場では、夏季に熱中症対策としてミスト装置を設置し利用促進を図るとともに、10月のサービスデーに合わせて「子どもサイクルフェスタ」を共催により開催した。加えて、自衛隊の協力による「親子で学ぼう防災教室」を初めて行った。逢瀬公園・緑化センターでは、地域関係団体との連携により「逢瀬公園さくらまつり」「キャベツ餅 MUSIC LIVE」「秋の感謝祭」を実施したほか、ニュースポーツとして、県レクリエーション協会「ふくしまレクリエーションフェスタ2019」のディスクゴルフ競技の開催を誘致した。福島空港公園においては、地域や関係団体と連携した「空港公園まつり」や「福島空港公園 handmademarket ソライチ」を開催、また、趣味や趣向に応じた体験が楽しめる「とんぼ玉づくりを楽しむ」や「手作りピザを楽しむ」を実施、さらには、空港公園の広大な自然を楽しんでもらう「空のみちウォーク」、「空港公園の森ウォーキング」、子どもたちへの環境学習「みどりの楽校」を行った。民家園では、年中行事・体験行事・実演行事など伝統文化の継承事業に取り組んだ。

緑化の推進普及においては、公園施設の利活用を図るための「あづま香りのバラ園まつり」、「サクラ、イチョウ等の四季のライトアップ」など、緑化に関する体験会やイベン

ト等を開催した。

大規模イベントとしては、あづま総合体育館では「大相撲夏巡業福島場所」（8月10日）、「トミカ・プラレールパラダイス」（8月21日～26日）、「イエローモンキーコンサート」（9月14、15日）等が開催された。また、改修工事が行われたあづま球場では工事の完成を記念した「プロ野球イースタンリーグ公式戦」（9月28日）、オリンピックのテストイベント「日本女子ソフトボール1部リーグ公式戦」（10月5、6日）が開催された。この他、多目的広場等では「世界少年野球福島大会」（8月1～7日）などが開催された。

公園の管理については、あづま総合運動公園でオリンピック開催に向け、屋外トイレの洋式化に協会として取り組んだ。空港公園ではテニスコートに、逢瀬公園・緑化センターでは駐車場にそれぞれ監視カメラを設置し、さらなる利用者の安全の確保を図った。また、民家園では、新たに旧広瀬座側に入口を設け新年度から供用を開始した。

この他、受動喫煙対策を柱とした改正健康増進法が令和元年7月に一部施行されたことを踏まえ、既存の喫煙所の設置場所等を見直すとともに、喫煙所を除く公園内全ての場所における全面禁煙の徹底に取り組んだ。

2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響

令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各公園施設において様々な影響が生じた。

特に、あづま総合運動公園では、2月下旬から施設利用のキャンセルが増加し、2～3月利用予約分キャンセルが合計で187件となった。加えて一部主催事業についても中止としたところである。

なお、各公園施設では年度末まで、手洗い、咳エチケットの徹底や消毒用エタノールの設置、さらには密閉・密集・密接を避けるための措置を講じるなど、感染拡大防止に取り組みながら通常どおり開園した。

また、あづま総合運動公園では、予定されていたあづま球場における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が延期となったことから、新年度の有料施設の貸出し等に大きな影響が出るものと見込んでいる。

* 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「福島県総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

II 事業概要

1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

(1) スポーツの普及指導事業

1) スポーツ教室

子どもを対象とした「小学生初心者水泳教室」や大人を対象とした「ワンポイント水泳教室」、「親子で楽しむからだあそび」、「季節を感じるウォーキング教室」「アシックスランニング教室」等のスポーツ教室を開催し、県民の運動意欲の高揚に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事業名	対 象	実施日	回 数	延べ参加者数
あづま	あづまガールズサッカースクール	小学生～中学生の女子	月 2 回 水曜日 4～3月	全 22 回	174 名
	子どもバドミントン体験会	小学生	4～3月	全 6 回	87 名
	公園健康づくり教室	一般	4～3月	18 講座	166 名
	ワンポイント水泳教室	プール利用者	4～6月	全 12 回	82 名
	季節を感じるウォーキング教室	一般	4～5月	4 回	30 名
	アシックスランニング教室	一般	11/17	1 回	23 名
	親子で楽しむからだあそび	幼児・親	5～7月 9～12月	9 回	82 名
	小学生初心者水泳教室	小学生	5～6月	6日×2期	298 名
	小学生陸上競技教室	小学生	4/10～4/26	4日×1期	181 名
	小学生一輪車教室	小学生	6/9、9/21	2 回	24 名
	小学生体操教室	小学生	1/9、11、12、 16、18、19	6日×1期	79 名
空 港	ノルディックウォーキングで健康になろう	一般	4月～3月	全 24 回	406 名
	空港公園でヨガ	一般	4/6、6/8、 8/3、10/5	4 回	73 名
逢 瀬、 センター	ノルディックウォーキング体験教室	一般	4月～3月	全 48 回	489 名

2) スポーツ大会

マスターズテニス大会やパークゴルフ大会を主催するとともにウォーキング大会、サッカーフェスティバルなどを各種スポーツ団体と共催により開催し、県民のスポーツ参加に寄与した。

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加選手数
あづま	第 35 回福島市スポーツ少年団バレーボール競技大会	小学生	4/20、21	280 名
	第 8 回あづま総合運動公園チーム対抗テニス大会（人工芝完成記念大会）	一般	5/3	149 名
	第 35 回全国小学生陸上競技交流大会 県北地区予選会	小学生	6/2	459 名
	第 10 回あづま総合運動公園マスターズテニス大会	一般	6/20	124 名
	第 12 回あづまカップパークゴルフ大会	一般	7/12	93 名
	第 35 回全国小学生陸上競技交流大会 福島県選考会	小学生	7/7	1,084 名
	陸上競技投てき・跳躍講習会	中学生～ 一般	8/12	197 名
	第 22 回 Me&You サッカーフェスティバル	小学生	8/24、25	720 名
	第 24 回ミニバスケットボールチビ子フェスティバル	小学生 低学年	9/7、8	1,100 名
	第 15 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	一般	9/7	29 名
	2019 ふくしま健康マラソン大会	幼稚園児～ 一般	10/20	1,761 名
	第 42 回総合運動公園庭球場オープン記念ダブルステニス大会	小学生、中学 生、一般	10/20、11/3	202 名
	第 27 回あづまカップ 福島市ゲートボール交流大会	一般	10/30※雨で順延 し別会場で開催	42 名
	第 17 回あづまの郷ウォーク大会	一般	11/3	1,709 名
	うつくしまふくしま第 42 回福島県小学生バレーボール選手権大会	小学生	11/23、24	509 名

あづま	第 22 回あづま荒川 クロスカントリー大会	小学生～ 一般	12/15	2,003 名
	第 19 回あづまジュニア体操競技大会	小・中学生	1/25、26	51 名
	あづまU-12 ガールズフットサル 2020	小学生 女子	2/8、9	188 名
空 港	須賀川市大東地区球技大会（グラウンド・ゴルフの部）	一般	6/3	100 名
	第 10 回福島空港公園杯 8 人制ジュニアサッカーフェスティバル	小学生	6/15、16	500 名
	第 28 回福島県ターゲット・バードゴルフ大会	一般	6/13	80 名
	ルームズカップ 2019 第 12 回中学生サッカーフェスティバル	中学生	8/10、11	200 名
	第 9 回翡翠チャレンジカップ	小学生	7/20、21	600 名
	第 16 回福島空港公園杯 県南マスターズテニス大会	一般	9/12	50 名
	第 8 回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会	中学生 高校生	10/12、13	中止
	第 13 回福島空港公園杯 少年フットサル大会	小学生	11/16、17	500 名
	第 13 回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会	一般	11/1	500 名
	須賀川市市民体育祭 サッカー競技小学生大会	小学生	10/19、20	400 名
逢 瀬、 センター	第 10 回ノルディック ウォーキング大会 in 郡山 2019	一般	5/26	110 名

3) ニュースポーツ普及指導事業

① 体験会の実施

グラウンドゴルフ、ディスクゴルフ、ラージ卓球、スポーツ吹矢などの体験会を春の感謝デーやあづまちびっこパーク等で開催した。(あづま 参加者数 延べ 777 名)

② 器具貸出し

園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。

(あづま 貸出件数 延べ 64 件)

4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

スポーツ関係のNPO法人、各種競技団体などと協働でシニアスポーツ相談及びウォーキング大会を開催し、県民の健康増進に努めた。

場 所	事業名	内 容
あづま	シニアスポーツ相談室の運営	シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供した。相談件数 161 件。
	第 17 回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3、参加者 1,709 名。
空 港	第 12 回空のみちウォーク 2019	NPO 法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/10、参加者 1,200 名。

5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。

- ① 水泳指導（小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿、国体）
- ② アーチERY指導（合宿、国体）
- ③ トレーニング指導（トレーニング室等）
- ④ 陸上競技指導

6) 月会員サービス事業

- ① 体育館・陸上競技場トレーニング室
 - ・期間内 1 日 2 時間まで使用可能な月会員サービスを行った。
一般 2,470 円、生徒等 1,240 円
消費税率の改正により 10 月 1 日以降は、一般 2,750 円、生徒等 1,430 円。
利用者 体育館トレーニング室 一般 761 名、生徒等 17 名。
陸上競技場トレーニング室 一般 111 名（いずれも延べ人数）。
 - ・期間内 1 日 2 時間まで、13 時～16 時限定としていたシルバー（65 歳以上）については、10 月 1 日以降、利用しやすいよう利用時間帯の制限を撤廃するとともに、消費税率の改正により月利用料金を 1,850 円から 2,500 円とした。
利用者 体育館トレーニング室 208 名。
陸上競技場トレーニング室 13 名（いずれも延べ人数）。
- ② 体育館室内プール
期間内 1 日 1 回使用が可能な月会員サービスを行った。
一般 3,700 円、4 歳児～高校生 1,850 円。

10月1日以降は一般3,040円、4歳児～高校生1,520円。

利用者 一般55名。

※10月1日以降は改修工事のため利用実績なし。

また、シルバー(65歳以上)については、2,470円から10月1日以降2,660円とした。

利用者 227名(延べ人数)

※10月1日以降は改修工事のため利用実績なし。

③ トレーニング室・プール共通

期間内プール1日1回、トレーニング室1日1回2時間まで使用可能なトレーニング室・プール共通の月会員サービスを行った。

一般4,940円、シルバー(65歳以上)3,490円、生徒等2,470円。

10月1日以降は大人4,050円、高校生2,060円、シルバー3,610円。

利用者 一般16名、シルバー5名(いずれも延べ人数)。

※10月1日以降は室内プール改修工事のため利用実績なし。

7) 年会員サービス事業

10月1日以降、長く継続した利用を促すため、新たに年会員サービスを開始した。

① 体育館・陸上競技場トレーニング室

期間内1日2時間まで使用可能な年会員サービスを設け、月会員サービスの10ヶ月分の料金とした。

一般27,500円、生徒等14,300円、シルバー(65歳以上)25,000円。

利用者 一般8名、シルバー7名。

② 体育館室内プール

期間内1日1回使用が可能な年会員サービスを設け、月会員サービスの10ヶ月分の料金とした。

一般30,400円、4歳児～高校生15,200円、シルバー(65歳以上)26,600円。

※室内プールの屋根等改修工事のため利用実績なし。

③ トレーニング室・プール共通

期間内プール1日1回、トレーニング室1日2時間まで使用可能なトレーニング室・プール共通の年会員サービスを設けた。

一般40,500円、生徒等20,600円、シルバー(65歳以上)36,100円

※室内プールの屋根等改修工事のため利用実績なし。

(2) レクリエーションの普及指導事業

1) レクリエーション事業

公園のみどりの豊かさや楽しさを知っていただくため、「あづまちびっこパーク」や「公園をもっと楽しもう講座」(新規)をはじめ各公園において体験型イベントを

実施した。また、県民の生涯学習の場として知識や技術を向上させるため、各種手づくり講座等を開催するとともに、一部の講座は、仕事帰りに参加できるよう夜間に行った。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト	公園で見つけたとっておきの風景や感動、驚きの様子を捉えた瞬間など、見た人が改めて公園の魅力に気づかされるような写真を募るフォトコンテストを展開。 第12回の入賞作品を展示(あづま、センター、空港、福島県庁、コラッセ福島)した。 第13回は116名の応募者から347点の作品が寄せられた。
	みどりの総合講座	公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶ講座を開催した。6回、参加者数98名。
あづま	ボランティアとの協働による公園づくり	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供した。みどりのボランティア:9回参加者100名、みどりのサポーター:10回参加者93名、うつくしま園芸福祉の会:5回参加者85名。
	落ち葉プール【新規】	子供たちに身近な自然との触れ合いの場を提供するとともに、落ち葉の有効利用を目的とし、体育館入り口付近に落ち葉プールを設置した。10/30～11/17まで。利用者343名。
	あづまバラ愛好会の活動	バラ園を学ぶ場として活用し、ローズコンシエルジュとともに技術指導などを行った。班活動、自主活動を含め43回開催。参加者1,659名。
	公園カルチャー教室、公園健康づくり教室	募集した講師(講座)による教室を年6期50講座開催。仕事帰りに参加できる夜の教室を複数回開催。参加者405名。
	公園をもっと楽しもう講座	公園を知り尽くした職員のガイドで、改修中のあづま球場や春のいちよう並木、見頃を迎える香りのバラ園等を案内し、その途中でプロカメラマンによるスマホ撮影のミニ講座やバラジャムのソフトクリームの試食を楽しむ講座を開催した。1回、参加者13名。

あづま	春の感謝デー	公園の新緑の中で県民が楽しめるフリーマーケット、ステージショー、各種体験会などを開催した。4/28、参加者 8,517 名。
	あづまちびっこパーク	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思いっきり遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施した。6/1、参加者 497 名。
	冬のキッズフェスタ	子どもたち向けのイベントを開催し、公園への親しみを醸成した。12/21、参加者 1,436 名。
	子供たちの自然体験	福島県もりの案内人を講師にネイチャーゲームやクラフト内体験のほか、空飛ぶ種の実験などを行った。7/28 参加者 8 名。10/6、参加者 11 名
空 港	とんぼ玉づくりを楽しむ	21世紀建設館を活用して、とんぼ玉づくり体験会を開催した。2回、参加者 25 名。
	手づくりピザを楽しむ	野外活動広場を活用して、手作りピザづくりを開催した。2回、参加者 60 名。
	クラフトテープでカゴ作り	21世紀建設館を活用した教室の開催を予定していたが、講師被災により中止となった。
	門松づくり体験	21世紀建設館を活用して、門松づくり体験を開催した。1回、参加者 15 名。
	空港公園で農体験 ～野菜づくりを楽しむ～	みんなの野菜畑（植え付け、芋掘り）を開催した。2回、参加者 150 名。
	空港公園自然塾	自然観察、昆虫トラップづくり、木の枝クラフト、藍染などを実施した。12回、参加者 290 名。
	みどりの講座	バラやハーブの育て方や楽しみ方、季節の寄せ植えをテーマに各教室を開催した。8回、参加者 141 名。
	暮らしを花で彩るフラワーアレンジ	季節に咲く花々を用いたフラワーアレンジメント教室を開催した。4回、参加者 65 名。
	空港公園の魅力再発見【新規】	公園の代表的な花木等を説明する観察会等を開催した。1回（当初2回予定。1回台風の影響により中止）、参加者 30 名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	坂道ウォーキングによる健康増進機 会の発信	園内の起伏に富んだウォーキングコースの階段修繕、危 険木の伐採や剪定を行った。また「コースマッ プ」をスタート地点や売店、休憩所に配置した。
	みどりを感じる手づくり講座	地元の陶芸家や染織家を講師とした陶芸と草木 染めの体験を始め、職員を講師とした正月を飾 る寄せ植え体験教室を開催した。3 回、参加者 30 名。
	園芸福祉活動コーナー	高齢者施設の利用者等に車椅子でも気軽に園芸 体験ができる場を提供した。
	国蝶オオムラサキ・甲虫観察舎 の開設	国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫の観 察舎を設置して、子どもたちの利用促進に努め た。6 月～8 月、入場者 1,722 名。
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で 遊ぼう”	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝ク ラフト体験等を行った。5 回、参加者 308 名。 また、もりの案内人の会と連携し、冬の動物や 野鳥観察会を開催した。

2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

各公園において、地域の団体や学校などと協働で「ふくしま手づくりマルシェ」、「ふくしまキッズ博」、「みどりのサポーター活動」などを開催し、地域の公園として、地域活性化等の役割を担いながら、公園利用者の増に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	ボランティアとの協働による公園づくり	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供した。 みどりのボランティア：9回参加者100名、 みどりのサポーター：10回参加者93名、 うつくしま園芸福祉の会：5回参加者85名。
	ふくしま手づくりマルシェ	民家園や巨石広場を会場に、手づくり品の展示販売を通して、地域の活性化や交流を図るイベントを開催した。5/25、26、参加者28,000名。
	ふくしまキッズ博	玩具遊びなどを通して子どもたちの心身の健全育成を図るイベントを開催した。7/27、28、参加者22,000名。
	第15回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催した。9/7、参加者29名。
	あづま银杏フェス	黄葉のイチョウ並木道において、あづま Teshi-got 市場やライトアップ、コンサートなどのイベントを開催した。
	第10回あづま Teshi-got 市場	手づくり品を通じた交流を目的にイベントを開催した。10/26、27、来園者46,043名。
	第17回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3開催。参加者1,709名。
	パラスポーツ体験会	年齢や性別、運動能力に関わらず、誰でも楽しめるスポーツの体験会を開催した。12/21、参加者284名。

場 所	事 業 名	内 容
空 港	YOSAKOI in 空港公園	地域のよさこい団体の参加を募り、活動と披露の場を提供した。5/11、来園者 8,348 名。
	第 8 回福島空港公園 handmademarket 「ソライチ」	地域の手作り愛好者団体と協働で、手作り品を販売するイベントを開催した。6/1,2、来園者 64,575 名。
	十五夜茶会【新規】	地域の茶道家と協働して、十五夜茶会を開催した。9/14、参加者 50 名。
	第 12 回空のみちウォーク 2019	NPO 法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺をコースにウォーク大会を開催した。11/10、参加者 1,200 名。
	空港公園「そば道場」	NPO 法人と協働で、空港公園「そば畑」で栽培したそば粉を活用した、そば道場を開催した。12/8、参加者 170 名。
	空港公園の森ウォーキング	地域の団体と共催で空港公園の広大な自然の中を歩く「空港公園の森のウォーキング」を開催した。2 回、参加者 173 名
	空港公園でバードウォッチング	日本野鳥の会郡山支部と共催でバードウォッチングを開催した。2 回、参加者 20 名
	ノルディックウォーキングで健康になろう	空港公園の 3 エリアを活用し、ノルディックウォーキング体験会を開催した。全 24 回、参加者 406 名
	空港公園でヨーガ	緑のスポーツエリアの天然芝を活用しヨーガの体験会を開催した。4 回、参加者 73 人。
	空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～	みんなの野菜畑（植え付け、芋ほり）を開催した。2 回、参加者 150 人。
空港公園子ども生け花教室	地域の子供たちを対象とした生け花教室を開催した。3 回、参加者 80 名。	

逢瀬、 センター	春の山野草展、秋の盆景展	センターを拠点として活動する緑花愛好クラブと協働で、山野草の展示会を開催した。5/25～26、入場者 310 名。秋の盆景展は協力団体の解散により中止。
	キャベツ餅MUSIC LIVE 2019	地元「安積アルプス出逢いプロジェクト」の事業として、逢瀬公園わんぱく広場を会場に、6 回目となるキャベツ餅MUSIC LIVE を開催した。9/16、参加者 1,300 名。
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう”	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝クラフト体験と冬の動物や野鳥の観察会を開催した。4/14、6/22、7/27、10/20、1/25、計 5 回、参加者 308 名。
	朝採り野菜市	地域生産者の高齢化と会員減少のため、他団体を模索したが希望団体が無く開催中止。
	逢瀬公園秋の感謝祭	わんぱく広場を会場に、地域の各種団体の協力を得ながら開催した。「逢瀬ひよっこ踊り」、「郡山高校チアダンス部演技」、「じゃんけん大会」、「ミニ運動会」を開催した。10/20、参加者 3,578 名。
民家園	縁側の山野草展・即売会	古民家の風情と稀少な山野草の展示会を開催し、併せて苔玉作り体験会や即売会を行った。6/1、2、参加者 258 名。
	民家園ふれあい祭り	古民家を利用した工作体験、地元産新そばの販売、劇団公演、スタンプラリーなど市民団体協働のまつりを開催した。11/4、参加者 1,208 名。

3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

地域の自治会や商工会等の団体と協働で「緑と花のあふれるまちづくり」等様々なイベントを開催し、地域の活性化に取り組んだ。また、「いきいき交流通学合宿の受け入れ」等により、地域と連携しながら子どもたちの健全育成に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	「中学ドリームアップ事業(職場体験活動)」の生徒受け入れ(市内各中学校)	地域の中学校が行う職場体験学習を受け入れ、施設の見学や業務体験を行った。参加者 3 校から 10 名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	ボランティアとの協働による公園づくり	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供した。 みどりのボランティア：9回参加者100名、 みどりのサポーター：10回参加者93名、 うつくしま園芸福祉の会：5回参加者85名。
	あづまバラ愛好会の活動	バラ園を学ぶ場として活用し、ローズコンシェルジュとともに技術指導などを行った。班活動、自主活動を含め43回開催。参加者1,659名。
	いきいき交流通学合宿の受け入れ	地元の小学生の宿泊体験を体育館3階の宿泊施設を利用して開催し、子どもたちの育成に寄与した。6/23～25、参加者12名。
	あづま絵本ぶんこの活用	幼児体育室脇にあるあづま絵本ぶんこは、絵本を自由に楽しむことのできるコーナーとして、新しい本棚の設置など絵本の管理を適切に実施した。
空 港	空港公園まつり	地域で活動する各種団体と連携し、空港公園を地域活動拠点とすることを目的に、フリーマーケット、おもしろサイクル、プラ板づくり、おもしろステージ、移動動物園、飲食テント村等を5月と9月に開催。2回、来園者11,673名。
	花のまちづくり推進事業	市民参加により栽培した花苗を地域の環境美化活動や地域おこしに使ってもらうため、4月から10月まで6回延57人が参加し、4,000ポットの花苗を地域に寄贈した。
	YOSAKOI in 空港公園	施設の利用促進や地域交流の機会の創出を目的に開催した。来園者8,348人。
	空港公園「そば道場」	NPO 法人と協働で、空港公園「そば畑」で栽培したそば粉を活用した、そば道場を開催した。12/8、参加者170名。

空 港	十五夜茶会【新規】	地域の茶道家と協働して、十五夜茶会を開催した。9/14、参加者 50 名。
逢 瀬、 センター	逢瀬公園さくらまつりの開催	地域の商工会と実行委員会を組織し開催した。地元高校生のフラダンスが好評で、ひょっとこ踊りやミニジャズコンサートも実施した。4/14、来園者 5,832 名。
民家園	民家園つるし雛&荒井寒ざらしそば祭り	周辺地域の協力のもと、つるし雛の展示と地元産農産物の販売を行った。4/6~4/7 (そば祭りは4/7のみ)、参加者 1,277 名。
	古民家のお茶会	4月の民家園つるし雛&荒井寒ざらしそば祭りに併せ、古民家でお茶会を開催した。4/7、参加者 60 名。

4) サイクルスポート広場事業

変わり種自転車や一輪車、バッテリーカーやそり(無料)の貸出を行った。年4回、回、無料開放日を設け、家族団欒と子どもたちの健康増進の場の提供に努めた。

利用者数は、暖冬で積雪による利用中止がほとんどなかったこと、新型コロナウイルスにより3月初めから学校が休校となったことにより増加し、前年度比112%の延べ514,564名、有料自転車等利用者は240,259名、バッテリーカー利用者15,602名であった。(あづま)

(3) 体力の増進事業

場 所	事 業 名	内 容
あづま	軽運動室の無料開放	震災後、子どもたちの健全育成や体力増進に寄与するため、小学生以下を対象に、本来有料施設である軽運動室を無料開放した。利用者数 50,644 名。

(4) その他の事業

1) 文化伝承事業

七夕、風鈴やハロウィン、クリスマスなど、季節にふさわしい展示を行うとともに、昔の生活・文化を伝承するため年中行事等を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示	季節に合わせ、七夕飾りと風鈴、お月見、ハロウィン、クリスマス飾り、団子さしを展示した。
空 港	季節の伝統行事を楽しむ	七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、団子さし、おひな様飾りを地域の幼稚園児等と制作し、エアフロントエリア休憩所に展示した。4月～2月、参加者 143 名
逢 瀬、センター	季節を感じる展示・飾り付け	四季の移り変わりを周りの自然とともに暦やイベントに合わせた飾り付けを行った。鯉のぼり、七夕、風鈴棚の設置、ハロウィン飾りづくり教室 (10/13、7 名)、団子さし展示を行った。
民家園	年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド	年中行事等の再現や来園者へのガイドの手配等円滑な運営に努めた。年中行事 11 回、体験行事 6 回、実演行事 3 回、ボランティアガイド 144 件
	全国のだるま展示会・絵付け体験	寄贈品の展示と展示を活用した絵付け体験を実施。施設の利活用に寄与した。12/14～2/16 来園者 2,714 名、体験者 79 名
	お正月遊び体験	民家園を活用した昔ながらのお正月遊びを来園者に提供した。1/4～13、来園者 708 名

2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】

(1) 指定管理施設

1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (ヘクタール)	維持管理施設
あづま総合運動公園	87.2	総合体育館ほか有料施設 11施設 巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む。)
福島空港公園	52.1	庭球場ほか有料施設 4施設 日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設 日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設 展示館、管理棟、休憩棟 3施設

(2) 施設管理運営事業

1) 定期的な巡視

安全・安心な施設を提供するため、定期的な巡視を行い、異状があった場合は適切な対応に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

2) 点検作業

適正な施設の維持管理と点検作業の体系化を図るとともに、遊具の日常管理や保守点検に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

3) 修繕計画

有資格者の職員による施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成した。また、福島県などの施設設置者に予算確保のための資料として提出した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習などを実施した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示により利用者に情報を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

6) 利用者へのサービス

公園内の季節の見どころに可動式ベンチを設置（あづま）

7) 公園野良ネコの現状把握と対策【新規】

園内に生息する野良ネコの一斉調査を行ったほか、園内で餌やりをしている方からも意見を聞きながら、捨て猫・虐待禁止や餌やりのルール看板づくりを進めた。

なお、看板の設置に際しては、地元自治会の理解を得ながら取り組み、園内に23基を設置した。（あづま）

8) 古民家等の適切な管理

貴重な古民家及び民俗資料を次世代に引き継いでいくため、適切な管理に努めた。（民家園）

9) 受動喫煙防止キャンペーン

子どもたちやタバコを吸わない人をタバコの煙から守るため、既存の喫煙所の見直しと喫煙所を除く公園内全ての全面禁煙の徹底に取り組んだ。

- ① 7箇所あった喫煙所を人通りの少ない4箇所へと削減しパーテーションを設置。禁煙を徹底するための注意標識約35基を設置。（あづま・民家園）
- ② 3箇所あった喫煙所をすべて廃止し、禁煙を徹底するための注意標識約20基を設置。（空港）
- ③ 2箇所あった喫煙所をすべて廃止し、禁煙を徹底するための注意標識約20基を設置。（逢瀬、センター）

10) あづま球場の人工芝の維持管理【新規】

令和元年9月に完成し供用開始となったあづま球場の人工芝グラウンドの維持管理については、施工業者から技術指導を受けるとともに、同様の施設である横浜スタジアムの現場視察を行うなど管理技術の習得と向上を図り、ソフトボールのテストイベントやプロ野球開催時などにおいて、適切な人工芝の管理に努めた。

(3) 緑地管理事業

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理に努めた。（あづま、空港、逢瀬、センター、民家園）
- ② 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理に努めた。（あづま、空港）
- ③ 自然環境に配慮した植生管理、景観性に配慮した植栽管理に努めた。（あづま、空港、逢瀬、センター、民家園）
- ④ 貴重な植物の保護に取り組んだ。（あづま、逢瀬、センター）
- ⑤ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を融合させた植栽管理に努めた。（あづま、空港、逢瀬、センター）
- ⑥ 日本庭園において日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。（空港）

⑦ 樹木の枯れ枝などを巡視で発見し剪定を迅速に行った。(あづま、空港、逢瀬、センター)

⑧ とうほう・みんなのスタジアムの芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修を迅速に行った。(あづま)

(4) 有料施設管理事業

① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出に努めた。(あづま、空港、センター)

② 有料施設の公平・公正な貸出を確保するための利用者会議の開催及び有料施設の年間利用計画の策定に努めた。(あづま、空港)

(5) 指定管理施設の利用者数

あづま総合運動公園では、体育館において、集客力のある興行イベント等が例年より多く開催されたことから令和元年度上半期の利用者数が前年度比約18%（約3.7万人）増加したが、プールが10月から改修工事により利用できなくなったこと、2月から新型コロナウイルスによる予約のキャンセルが増加したことで、年間では前年度比2%（約0.6万人）の増加に留まった。また、改修工事のために9月下旬まで利用できなかったあづま球場では約53%（約2.4万人）、散策利用その他利用者数では約21%（約15.3万人）の減少が見られた。この結果、公園全体の利用者数は、前年度を約7%（約11.7万人）下回る結果となった。

福島空港公園では、「空港公園まつり」や「福島空港公園 handmademarket ソライチ」などの大型イベントが多くの方に知られるようになり来場者が増加したが、緑のスポーツエリアの有料施設については、台風などの天候不順、庭球場の改修などの影響から貸切利用者数が減少した。一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として周辺市町村の管理施設が使用中止となった影響から親子利用などの個人利用が増加し、加えて暖冬も重なり冬季間の散策者が増加した。この結果、利用者数については前年度と比較し、約1%（約6,500人）減少した。

逢瀬公園・緑化センターでは、大規模イベントである春の「さくらまつり」や秋の「キャベツ餅 MUSIC LIVE」、「秋の感謝祭」で多くの来場者が訪れ、9月までは前年度を上回る利用者数となった。10月の台風以降は前年度並みとなったものの、その後の新型コロナウイルス感染防止に対する屋外活動の志向の高まりにより園内散策者が増加し、最終的には約19%（約1.9万人）の増加となった。

民家園については、年度下半期が暖冬で好天に恵まれ好調となったものの、年度上半期の天候不順による減少幅がかなり大きかったことから、結果として前年度と比較し約7%（約2,600人）の減少となった。

(単位：人)

公園名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
あづま	1,156,648	1,890,242	1,507,945	1,772,697	1,839,769	1,750,177	1,984,697	1,786,897	1,670,180
空 港	379,192	420,787	474,787	438,047	508,824	519,573	529,353	530,967	524,424
逢瀬、 センター	129,160	139,544	163,554	180,757	183,637	169,762	163,448	153,633	182,717
福島市 民家園	15,969	33,380	36,183	38,047	46,169	40,515	35,432	35,875	33,228
合計	1,680,969	2,483,953	2,182,469	2,429,548	2,578,399	2,480,027	2,712,930	2,507,372	2,410,549

3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

(1) 都市公園等の情報収集事業

- ① イベント開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施し、分析結果を次の開催に反映する。(あづま〔ライトアップ時等に実施。対象イベント数4件、回収数41件〕)
- ② 公園管理運営に対する満足度を調査するためのアンケートを意見箱などで収集した。
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集を行った。
- ④ 他類似公園の管理運営情報の収集を行った。

(2) 都市公園等の広報事業

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し施設利用誘致活動の推進に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ④ 園内で見られる花を図鑑として作成し、花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑤ あづま総合運動公園、空港公園、民家園の各ホームページについてコンテンツ構成の刷新やデザインの見直しなど全面的な改定を行い、広報のさらなる強化を図った。(あづま、空港、民家園)
- ⑥ ホームページ掲載中の各施設の現況や大会・イベント開催状況などの情報をこまめに更新することにより、来園者の利便性向上に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑦ ホームページ「公園の四季」において、園内の開花状況などのみどりに関する情報を随時提供した。また、公園の健康づくりを楽しむための情報をまとめた「公園で健康になろう」、公園フォトコンテスト入賞作品から公園の魅力を伝える写

真をピックアップして紹介した「公園の魅力フォトライブラリー」等を掲載した。
(あづま)

- ⑧ ツイッターを活用し、イベントなどのリアルタイムな情報、混雑時の駐車場の空き状況の情報、公園の四季などの魅力をきめ細やかに発信した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑨ 利用促進ツールとして積極的に活用するため、協会パンフレット、あづま総合運動公園総合パンフレット(冊子)、あづま総合運動公園利用案内パンフレット(A3判)の3つパンフレットについて、全面的な改訂を行った。
- ⑩ 電光掲示板やデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、リアルタイムな情報提供に努めた。(あづま)
- ⑪ 植物学習の場を提供するため、植物名板の充実に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑫ インターネットのブログの日常的な更新など、公園の最新情報の提供に努めた。(空港、民家園)
- ⑬ 年間を通し、公園で開催される大会やイベント内容を園内掲示板へ掲示し、情報提供を行った。また、公園に対する意見・要望への回答も掲示した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑭ 公園利用者からの要望に対する回答や公園の情報を発信する「公園情報コーナー」を休憩所に設置した。(逢瀬、センター)
- ⑮ 地域と連携し、公園及び隣接する河川沿いの桜の維持管理活動を行う新名所「逢瀬さくらの里」づくりに参画し、桜の維持管理をはじめ、桜並木を彩るコスモスや菜の花の種蒔きを行った。(逢瀬、センター)
- ⑯ 地域団体「逢瀬さくらの里」と共催し、(一社)日本樹木医会、福島県支部の樹木医を招いた「逢瀬さくら講座」を開催した。2/22、参加者43名。(逢瀬、センター)

(3) 都市公園等の調査研究事業

全国公園協議会現地検討会へ職員を参加させ、情報収集や情報交換を行った。

(4) 都市公園等の利用促進事業

1) 施設の特徴を活かした事業の推進

- ① 距離表示板の設置やマップ作成等により、園内ウォーキングコースの充実に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
また、園路の舗装面に距離表示を行うことで、ジョギングコースの充実に努めた。(あづま)
- ② 公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などにおいて、ボランティア活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ あづまボランティア、みどりのボランティア、みどりのサポーター、あづまバラ愛好会、福島空港公園ボランティア、おうせボランティアの育成を図るとともに活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター)

- ④ 有料施設を個人利用者に無料開放する「個人利用サービスデー」を実施した。
（あづま、空港）
- ア あづま総合運動公園（5/5、8/18、10/14、12/8 年4回）
プール、体育館トレーニング室及び体育室、陸上競技場（トレーニング室含む）、庭球場、サイクルスポーツ広場。利用者 31,837 名。
- イ 福島空港公園（毎月1回）
庭球場。利用者 302 名。
- ⑤ 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。（あづま、空港、逢瀬、センター、民家園）
- ⑥ 軽運動室を復興支援として引き続き無料開放した。（あづま）
- ⑦ 過去2箇年の試行営業の結果を元に、庭球場の新たなサービスとして、6月から8月の土日祝日朝6時からの「夏季週末早朝営業」【新規】に取り組んだ。26日間で1,343名の利用があった。（あづま）
- ⑧ 公園利用の促進を図るとともに芝グラウンドのプロスポーツ利用に対応するため、3月～11月末まで使用可能とするよう芝生の養生管理に努めた。（あづま）
- ⑨ NPO法人のスポーツクラブを支援し、協働でカルチャー教室や健康づくり教室の開催、シニアスポーツ相談室の運営を行った。（あづま）
- ⑩ ヤマユリ群生地 of 保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理に努めた。（あづま）
- ⑪ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。（あづま）
- ⑫ 一定のルールの下で、一般県民による自由なごみ拾いを推奨し、清掃作業の軽減を図るとともに、公園の新たな秋の風物詩となるよう取り組んだ。（あづま）
- ⑬ 公園の特色を活かしたイベントを開催することで、公園の四季を身近に感じてもらおうとともに、各種植物園（円形花壇、香りのバラ園、ヤマユリ園、アジサイ園）の魅力を発信した。（あづま）
- ⑭ サクラやイチョウなどの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。（あづま、民家園）
- ⑮ 福島空港公園フットサルコートの特典サービス（年間）（空港）
フットサルコートにおいて、10時間利用で1時間分無料の回数券を発行した。
- ⑯ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツの雪吊りを実施した。（空港）
- ⑰ 利用者からの健康増進のための要望に応え、卓球台を設置し、貸し出し（有料）を行った。（空港）
- ⑱ 条例で休館日となっている第3日曜日も開館し、公園利用者の利便を図った。（逢瀬、センター）
- ⑲ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供を充実させるため、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップを西駐車場に配置した。（逢瀬、センター）

- ⑳ 公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に開店した「おうせ茶屋」の運営に協力した。同施設は、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を活用した飲食サービスの他、公園や周辺地域の観光情報の提供等にも取り組んでいる。(センター)
- ㉑ 植物名板や解説板の増設を行うとともに、公園の冬の風物詩として、事務所前日本庭園のマツに雪吊りを実施し、施設の魅力アップを行った。(逢瀬、センター)
- ㉒ 古民家の風情を活かした「縁側の山野草展・即売会」、「生花展示」、「だるま絵付け体験」、「上川崎和紙の紙すき体験会(新規)」、また、寄贈されたものを活用した「着物展示」、「だるま展示」を開催し、利用促進を図った。(民家園)
- ㉓ 福島市小鳥の森と共催で、「コーヒーを飲みながら野鳥の声を聞こう」他1事業を開催し、民家園の新たな魅力発信を図った。(民家園)

(5) 都市公園等の地域づくり事業

商工会と協力して花苗の栽培を行う等、地域の団体との協働による様々なイベントを開催するとともに、ボランティアの受入れや育成を通し、地域の活性化や地域づくりのリーダーとなる人材等の育成に取り組んだ。

場 所	事 業 名
あづま	「中学ドリームアップ事業(職場体験活動)」の生徒受け入れ(市内各中学校)
	あづま絵本ぶんこの活用
	ボランティアとの協働による公園づくり
	あづまボランティアの活動
	あづまバラ愛好会の活動
	いきいき交流通学合宿の受け入れ
	あづまの郷ウォーク大会
荒川ミュージアムへの参画	
空 港	第12回空のみちウォーク2019
	空港公園まつり
	YOSAKOI in 空港公園
	十五夜茶会【新規】
	空港公園ボランティア活動
逢 瀬、 センター	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供
	「安積アルプス出逢いプロジェクト」地域づくりへの取り組み
	逢瀬さくらの里づくりへの取り組み

4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

(1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

1) 公園資源を活用した緑化推進事業

① 公園資源を活用した「あづま香りのバラ園まつり」やライトアップを開催するとともに、花苗の無料配布や各種体験会を実施し、緑化の推進に努めた。

また、公園の四季を楽しんでいただくために開催しているライトアップ事業では、環境への配慮から、従来の水銀灯からLED灯への入れ替え作業に取り組んだ。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	サクラの光のファンタジー	4/5～4/21	2,193名
	あづまバラ愛好会の活動	4/8～2/21	1,659名
	みどりのボランティアの活動	4/20～3/6	100名
	春の感謝デー花苗配布(1,000ポット)	4/29	500名
	みどりのサポーターの活動	5/21～1/15	178名
	あづま「香りのバラ園まつり」	6/1～2	8,000名
	あづまちびっこパーク	6/1	497名
	イチョウ光のプロムナード	10/30～11/11	6,660名
	光のTREEページェント	12/13～1/13	—
	子供たちの自然体験会	7/28, 10/6	19名
	園内掲示板への花だより情報の掲載	年間	—
空 港	空港公園の森ウォーキング	5/26、12/8	173名
	空港公園でバードウォッチング	5/19、2/2	20名
	花のまちづくり推進事業	4/4, 4/24, 5/31, 8/19, 9/12, 10/3	57名
	空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～	5/16, 10/18	150名
	みどりのカーテン設置	5月～10月	—
	空港公園の魅力再発見【新規】	4/21 (10/26は中止)	30名
逢 瀬、 センター	みどりに親しんでもらうための展示と工夫	通年	—
	みどりの日記念花苗無料配布	5/4	250名

逢瀬、 センター	山野草展、盆景展	5/25、26 盆景展中止	310名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習 事業	9/21	20名
	夏休みみどりの絵画募集	9/2～9/10	24名
民家園	みどりのカーテン設置	5/19～9/25	—
	縁側の山野草展	6/1、2	258名
	植物見頃情報板及び花図鑑の設置	通年	—

② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催することにより緑化の普及に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	みどりの総合講座	5/8、7/1、9/28、11/16、 12/20、2/15	98名
空 港	空港公園自然塾	4/13、4/28、6/23、7/21、 8/18、9/29、10/20、11/16、 12/1、1/19、2/16、3/15	290名
	空港公園子ども生け花教室	5/12、7/7、10/27	80名
	暮らしを花で彩るフラワーアレンジ	5/25、7/6、9/7、12/21	65名
	樹木剪定専門技術研修	5/25～26、10/12～13（中 止）	26名
	空港公園みどりの楽校【新規】	10/21、10/31	70名
逢瀬、 センター	スローライフを楽しむハーブ講座	4/23、6/13、7/13、8/24、 9/25、11/14	76名
	実践で学ぶ庭木の剪定講座	5/10、5/20、6/7、8/27、 10/10、29	38名

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
逢瀬、 センター	公園は僕らの宝“逢瀬の森で遊ぼう”	4/14、6/22、7/27、10/20、 1/25	308名
	暮らしを彩るみどりと花の講座	5/18、6/29、9/28、10/26、 11/23	45名
	笑顔広がるにこにこバラ講座	5/23、6/20、10/16、11/8、 11/28	97名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の 環境学習事業	9/21	20名
	逢瀬さくら講座	2/22	43名

2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用し、ガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座を開催することにより、みどりの普及啓発に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりの総合講座	公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶプログラムで講座を開催している。6回、参加者98名。
空 港	みどりの講座	家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に講座を開催した。8回、参加者161名。
逢瀬、 センター	芝生の葉アートを楽しもう	みどりに親しんでもらうことを目的に、芝生の広場で、地域の子どもたちに手動芝刈り機を使って芝刈り作業を体験してもらった。緑の芝生の中に大きなハートマークを浮かび上がらせることができた。取材にはTV局1社取材に訪れた。5/30、参加者12名。
	暮らしを彩るみどりと花の講座	全5講座のうち2講座は、ガーデニング初心者向けの内容を加え、職員が持つ技術提供を行った。参加者45名。

3) その他受託事業

グリーンアドバイス事業の受託

- ① あづま総合運動公園、空港公園にグリーンアドバイスセンターを開設し、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病害虫の診断や防除指導等、みどりに関する疑問や質問等の相談をみどりの有資格者が受け対応した。

・緑地の設計	24件
・樹種選定・特性	112件
・栽培・増殖	418件
・育成管理	1,167件
・樹勢診断・治療処方	5,418件
・病害虫	121件
・その他	60件
合 計	7,320件
[うち、相談室内アドバイス	2,226件
出張アドバイス	5,094件

- ② 講習会等への講師派遣を行った。

・福島市学習センター	4件
・飯舘村自治会	3件
・飯舘村公民館	1件
・杉妻学習センター	1件

4) 情報収集事業

みどりに関する季刊誌や県外の公園情報誌等から情報収集を行った。

(2) 緑化推進の調査研究事業

1) リサイクル事業

- ① 剪定枝や松くい虫被害木はチップパーにより減容化し、養土くんにより堆肥化するとともに、花壇の土壌改良材として利用した。(あづま)
- ② 落葉樹を主とした落ち葉は分別収集して積み置きし、来年度の花壇堆肥化として再利用するため保管した。(あづま、空港)
- ③ 剪定枝はチップパーにより減容化し、処分施設内に保管した。(空港、逢瀬、センター)

2) 生態系に配慮した事業

- ① 公園内の自然環境を踏まえて、生態系に配慮した緑地管理を実施した。(あづま、空港、逢瀬)

3) 逢瀬公園、さくら守事業

- ① さくらの広場のサクラの樹勢診断とカルテ作成、剪定や土壌改良による樹勢回復を実施した。(逢瀬、センター)

5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

(1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

1) 興行に類するものへの貸出状況

- ① 大相撲夏巡業福島場所 (8月10日)
- ② トミカ・プラレールパラダイス in FUKUSHIMA (8月21~26日)
- ③ THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2019 (9月14・15日)
- ④ J3ユナイテッドホームゲーム (5月5・19日、6月3・9・30日、7月21日、9月15日、11月4・10・24日、12月8日 合計 11試合)
- ⑤ プロ野球イースタンリーグ公式戦東北楽天対北海道日本ハム (9月28日)

(2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業

1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

- ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び保全対策の設計、施工
令和元年度指定天然記念物定期診断業務 (郡山市)
工期：R 1.12.5~R 2.3.31
- ② 樹木調査診断業務委託 (その1) (双葉町)
工期：R 1.7.29~R 1.12.15
- ③ からむし織りの里裏山整備事業測量設計業務委託 (柳津測量設計株式会社)
工期：R 1.7.16~R 1.12.20

2) 緑地の造成及び緑地管理事業

- ① 福島県立医科大学の緑地管理
福島県立医科大学緑地保全管理業務 (公立大学法人福島県立医科大学)
工期：H31.4.1~R2.3.31

(3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業

1) 売店等の設置（あづま、空港、センター）

あづまに1箇所のレストラン及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店などの設置

	臨時売店	フリーマーケットなど
あづま	延べ449店	延べ525店
空港	延べ67店	延べ316店
センター	延べ16店	—

2) 自動販売機の設置

	飲料水	飲食物
あづま	43台	8台
空港	8台	—
センター	2台	—

3) スポーツ用品の販売（あづま、空港）

卓球ボールやバドミントンのシャトル、テニスボール等、スポーツ用品の販売を行い、利用者への利便供与に努めた。

4) 地域の農産物の販売（センター）

生産農家の高齢化、後継者不足と会員減少などにより、他団体を募ったが希望団体が無く中止となった。

Ⅲ 役員等に関する事項

1 理事、監事の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	任期満了等 による改選 (令和元年6月14日)	変更事由等	補充選任 (令和2年4月1日)
			氏 名		氏 名
理 事	大 河 原 聡	任期満了	大 河 原 聡		
理 事	石 森 春 男	任期満了	石 森 春 男		
理 事	佐 賀 勝	任期満了	佐 賀 勝		
理 事	太 田 隆 夫	辞任による	中 村 鉄 也	辞任による	佐 藤 喜 彦
理 事	新 谷 崇 一	任期満了	新 谷 崇 一		
理 事	飯 沼 隆 宏	任期満了	飯 沼 隆 宏	辞任による	丹 治 俊 宏
理 事	尾 形 幸 男	任期満了	尾 形 幸 男		
理 事	芦 野 英 明	任期満了	芦 野 英 明	辞任による	諏 江 勇
理 事	森 崎 俊 紘	任期満了	森 崎 俊 紘		
理 事	若 松 伸 司	任期満了	若 松 伸 司		
監 事	齋 藤 忠				
監 事	根 本 達 弥			辞任による	新 妻 勝 幸

2 評議員の状況

役 職	期 首 氏 名			変更事由等	補充選任 (令和2年4月1日)
					氏 名
評議員	齋 野 和 則			辞任による	増 田 聡
評議員	小 林 真				
評議員	齋 藤 卓 夫				
評議員	真 田 哲 也			辞任による	小 川 宏
評議員	岡 崎 拓 哉				
評議員	遠 藤 徳 良				
評議員	七 宮 弘				
評議員	西 山 尚 利			辞任による	矢 吹 貢 一
評議員	本 多 勉				
評議員	齋 藤 可 子			<u>12月15日</u> 死亡による	追 分 富 子

3 常勤役員の異動状況

新：理事長 大河原 聡（令和元年6月14日再任）

新：副理事長 石 森 春 男（令和元年6月14日再任）

新：常務理事 佐 賀 勝（令和元年6月14日再任）

4 常勤役員の兼職状況

兼 職 名	兼 職 者
(公社)福島県森林・林業・緑化協会理事	理事長 大河原 聡
(公財)福島県スポーツ振興基金理事	〃
福島県体育施設協会会長	〃
(公財)日本体育施設協会評議員(令和2年6月まで)	〃

5 理事会及び評議員会の開催状況

開催月日	提 出 議 題
第1回理事会 令和元年5月30日 杉妻会館 出席理事 7名 出席監事 2名	議案第1号 平成30年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 平成30年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について 議案第3号 中・長期経営計画の見直し(案)について 議案第4号 有料公園施設等利用料規則の一部改正(案)について 議案第5号 令和元年度第1回評議員会の招集(案)について
第1回評議員会 令和元年6月14日 杉妻会館 出席評議員 8名 出席監事 2名	報告事項1 中・長期経営計画の見直しについて 報告事項2 平成30年度事業報告及び附属明細書について 議案第1号 平成30年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について 議案第2号 理事の選任(案)について
第2回理事会 令和元年6月14日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名	議案第1号 理事長の選任(案)について 議案第2号 副理事長の選任(案)について 議案第3号 常務理事の選任(案)について
第3回理事会 令和2年1月24日 杉妻会館	報告事項1 令和元年度職務執行状況報告について 議案第1号 令和元年度補正予算(案)について 議案第2号 令和2年度事業計画(案)について

出席理事 出席監事	9名 2名	議案第3号 令和2年度収支予算(案)について 議案第4号 (公財)福島県都市公園・緑化協会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第5号 (公財)福島県都市公園・緑化協会就業規則の一部改正(案)について 議案第6号 (公財)福島県都市公園・緑化協会嘱託員就業規則の一部改正(案)について 議案第7号 (公財)福島県都市公園・緑化協会業務員就業規則の一部改正(案)について 議案第8号 (公財)福島県都市公園・緑化協会臨時業務員就業規則の一部改正(案)について 議案第9号 (公財)福島県都市公園・緑化協会嘱託員等の介護休暇、介護時間、及び育児休業等に関する規程の制定(案)について 議案第10号 (公財)福島県都市公園・緑化協会の個人情報の保護に関する規程の一部改正(案)について 議案第11号 令和元年度第2回評議員会の招集(案)について
第2回評議員会 令和2年2月5日 杉妻会館 出席評議員 出席監事	8名 2名	報告事項1 令和元年度職務執行状況報告について 報告事項2 令和元年度補正予算について 報告事項3 令和2年度事業計画について 報告事項4 令和2年度収支予算について
第4回理事会 令和2年3月23日 決議の省略による方法 同意理事 同意監事	10名 2名	議案第1号 令和元年度第3回評議員会の開催(案)について
第3回評議員会 令和2年3月31日 決議の省略による方法 同意評議員	9名	議案第1号 評議員の補充選任(案)について 議案第2号 理事の補充選任(案)について 議案第3号 監事の補充選任(案)について

IV 特記事項

なし。

